

2025年8月1日

公益財団法人 SOMPO環境財団

2025年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人SOMPO環境財団（理事長：西澤敬二、以下「SOMPO環境財団」）は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2025年度助成先5件を決定しました。

1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、2001年から環境をテーマとする人文・社会科学系の意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援しています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2024年度までに合計122名の方に助成を行なっています。

（助成実績）https://www.sompo-ef.org/academic/academic_kako.html

2. 助成決定先

別紙「2025年度助成先」参照

3. その他

制度の詳細につきましては、SOMPO環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.sompo-ef.org/academic/academic.html>

以上

(別紙) 2025年度助成先 (助成額: 1名あたり30万円限度)

申請者	所属大学院名	研究テーマ
後藤 莊子	京都大学大学院 経済学研究科	炭素価格の有効性に関する基礎研究 : 家計・企業・政府の側面からの検討
IZZA MAHDIANA APRILIANI (イザマハディアナ プリリアニ)	宇都宮大学大学院博士後期課程 地域創成科学研究科 先端融合科学専攻 グローバル地域デザイン プログラム	An Investigation of angrove-Fisheries Linages Using the Satoumi Concept: A Case Study of Small-Scale Fisheries in Southern West Java, Indonesia
糸井 風音	筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 社会工学学位プログラム 環境意思決定研究室	孤独感が気候変動に対する認識・行動の 変容に及ぼす影響 : 情報の受容に着目して
岩野 純奈	九州大学大学院 生物資源環境科学府 環境農学専攻 森林政策学研究室	誰がシカ捕獲を担うのか? : 日本とスロベニアの狩猟者と林業者の 国際比較研究
Viktoria Blaschek (ヴィクトリアブラ シエック)	東京大学大学院 農学生命科学研究科 森林科学専攻 森林風致計画学研究室	Enabling and constraining factors for participation in edible urban landscapes in Japan and Austria.

以上